



平成30年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社イメージワン 上場取引所 東
 コード番号 2667 URL <http://www.imageone.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 康廣
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 鶴飼 良一 (TEL) 03-6233-3410
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第1四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	232	1.0	△53	—	△56	—	△45	—
29年9月期第1四半期	230	—	△62	—	△69	—	△68	—

(注) 包括利益 30年9月期第1四半期 △57百万円(—%) 29年9月期第1四半期 △71百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	△8.49	—
29年9月期第1四半期	△14.68	—

(注) 平成29年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、29年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第1四半期	1,581	1,153	63.5
29年9月期	1,536	964	52.1

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 1,004百万円 29年9月期 801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年9月期	—	—	—	—	—
30年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,580	14.0	10	—	1	—	30	—	6.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年9月期1Q	5,721,100株	29年9月期	5,021,100株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

30年9月期1Q	74,500株	29年9月期	74,500株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年9月期1Q	5,344,100株	29年9月期1Q	4,656,600株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、底堅い企業収益や雇用環境の改善等を背景に回復基調で推移しておりますが、人手不足による人件費上昇や海外の政治・経済情勢により不透明感が増しております。

一方、当社グループを取り巻く事業環境といたしましては、主要分野であるヘルスケア領域において、政府の成長戦略が掲げる新しい社会「Society5.0」の実現に向けた戦略分野の筆頭に「健康・医療・介護」が掲げられ、ICTを活用した医療サービス具体化への期待が高まってきております。

また、GEOソリューション事業分野において、国土交通省は、土木測量分野等の生産性を飛躍的に高める目的で「i-Construction」を推進し、やはりICTが戦略の中心に置かれておりますが、とくにUAV（小型無人航空機）に大きな役割を担わせる戦略となっております。

このような環境下で、当社グループの主力事業である「ヘルスケアソリューション事業」セグメントでは、前年度期初より注力してきた営業体制強化策の進捗により、PACS（医療画像保管・配信・表示システム）、ConnectioRIS（放射線部門情報システム）等の今期売上を予定する受注及び商談は概ね計画に沿った進捗となっております。

循環器分野での新規事業展開を視野に、ソフトウェア開発と保険適用認可を得た「不整脈検査用ウェアラブル心電計（duranta）」は、第2四半期より予定する出荷の積極的な拡大に向けた準備が完了しております。

「ウェブ・サービス事業」セグメントにおきましては、設立から3年で事業黒字化を目指す連結子会社の第2事業年度にあたり、自由診療クリニックへの営業展開を拡大する一方で、自社ポータルサイト周知のための広告宣伝を強化するため、経費計上が先行しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高232百万円（前年同期比1.0%増）、営業損失53百万円（前年同期は62百万円の損失）、経常損失56百万円（同69百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失45百万円（同68百万円の損失）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、従来「医療画像事業」としていた報告セグメントの名称を「ヘルスケアソリューション事業」に変更しております。同じく「衛星画像事業」としていた報告セグメントの名称を「GEOソリューション事業」に変更しております。これらは事業内容により合致した表現とするための名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

ヘルスケアソリューション事業

ヘルスケアソリューション事業の当第1四半期連結累計期間は、売上高197百万円（前年同期比4.8%減）、営業利益14百万円（前年同期は14百万円の損失）となりました。

「医療画像システム商品」の価格競争は継続した加速傾向にありますが、大型営業案件の稼動と、前期より取り組んでいたモダリティメーカーとの協業の成果が出始めたことから、ヘルスケアソリューション事業全体の収益は改善する結果となりました。

一方、在宅医療・介護福祉分野の新規事業として出発した「duranta（テレメトリー式心電送信機）」事業は、「不整脈検査用ウェアラブル心電計」としての事業領域拡大を展望し、販売開始に向けたソフトウェア開発に注力してまいりました。第2四半期からの販売開始による収益貢献を見込んでおります。

GEOソリューション事業

GEOソリューション事業の当第1四半期連結累計期間は、売上高35百万円（前年同期比53.0%増）、営業利益4百万円（同26.4%減）となりました。

Fieldspec4（携帯型分光放射計）の販売が好調であったことに加え、国内のUAV運用の増加を背景にPix4Dmapper（UAV撮影画像等の自動オルソモザイク&3D処理ソフトウェア）の販売は前期より着実に成長していること等、当セグメントの売上は大きく伸長しました。

一方、日本国内におけるPix4Dmapperのシェア拡大を加速させる目的で、戦略的な販売価格の見直しを行ったことにより、営業利益は減益となりました。

ウェブ・サービス事業

ウェブ・サービス事業の当第1四半期連結累計期間は、売上高0百万円（前年同期の売上高一百万円）、営業損失25百万円（前年同期は2百万円の損失）となりました。

自由診療医科分野の予約・検索サイト事業により構成され、核となるポータルサイト第一弾「Dr. Times」を前年度にリリースし、営業活動をスタートしました。その後ポータルサイトの第二弾「CLINIKE」を平成29年10月にリリースしましたが、自由診療クリニックへの営業展開を拡大する一方で、自社ポータルサイト周知のための広告宣伝を強化したため、経費計上が先行する結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、1,411百万円（前連結会計年度末比2.4%増）となりました。これは、現金及び預金が264百万円増加し、受取手形及び売掛金が253百万円減少したこと等によります。

固定資産は、167百万円（同7.7%増）となりました。これは、工具、器具及び備品が3百万円、無形固定資産のその他が9百万円増加したこと等によります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,581百万円（同2.9%増）となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、260百万円（前連結会計年度末比34.2%減）となりました。これは、買掛金が121百万円減少したこと等によります。

固定負債は、166百万円（同4.9%減）となりました。これは、長期借入金が8百万円減少したこと等によります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、427百万円（同25.2%減）となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、1,153百万円（前連結会計年度末比19.6%増）となりました。これは、資本金が124百万円、資本剰余金が124百万円増加し、利益剰余金が45百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月期（通期）の業績予想につきましては、平成29年11月10日付「平成29年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	711,703	976,026
受取手形及び売掛金	631,981	378,773
商品	9,032	7,069
仕掛品	13,136	29,366
貯蔵品	157	1,741
その他	18,491	24,619
貸倒引当金	△5,993	△5,903
流動資産合計	1,378,509	1,411,692
固定資産		
有形固定資産	36,983	39,649
無形固定資産		
ソフトウェア	51,022	51,469
その他	24,981	34,371
無形固定資産合計	76,003	85,840
投資その他の資産	42,240	41,757
固定資産合計	155,228	167,247
繰延資産	2,806	2,634
資産合計	1,536,543	1,581,575
負債の部		
流動負債		
買掛金	224,364	102,974
1年内償還予定の社債	14,200	14,200
1年内返済予定の長期借入金	56,419	45,260
未払法人税等	9,655	4,287
製品保証引当金	8,450	6,121
その他	83,461	88,038
流動負債合計	396,550	260,882
固定負債		
社債	7,700	7,700
長期借入金	164,065	155,371
退職給付に係る負債	2,665	2,986
その他	936	773
固定負債合計	175,367	166,831
負債合計	571,918	427,713

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,293,816	1,417,902
資本剰余金	436,814	560,900
利益剰余金	△817,495	△862,851
自己株式	△111,949	△111,949
株主資本合計	801,186	1,004,001
新株予約権	1,701	630
非支配株主持分	161,737	149,229
純資産合計	964,625	1,153,861
負債純資産合計	1,536,543	1,581,575

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
売上高	230,491	232,811
売上原価	172,191	151,121
売上総利益	58,300	81,689
販売費及び一般管理費	120,728	135,362
営業損失(△)	△62,428	△53,672
営業外収益		
受取利息	4	7
受取配当金	150	150
その他	45	80
営業外収益合計	199	238
営業外費用		
支払利息	936	859
社債利息	58	38
為替差損	701	6
支払手数料	2,058	1,915
新株予約権発行費	3,830	-
その他	114	171
営業外費用合計	7,700	2,992
経常損失(△)	△69,929	△56,426
税金等調整前四半期純損失(△)	△69,929	△56,426
法人税、住民税及び事業税	1,474	1,437
法人税等合計	1,474	1,437
四半期純損失(△)	△71,403	△57,864
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,055	△12,507
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△68,348	△45,356

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
四半期純損失(△)	△71,403	△57,864
四半期包括利益	△71,403	△57,864
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△68,348	△45,356
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,055	△12,507

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により資本金が124,085千円、資本剰余金が124,085千円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本金が1,417,902千円、資本剰余金が560,900千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計上額 (注)2
	ヘルスケアソ リューション 事業	GEOソリュ ーション 事業	ウェブ・サー ビス事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	207,384	23,107	-	230,491	-	230,491
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	207,384	23,107	-	230,491	-	230,491
セグメント利益又は損失(△)	△14,176	6,787	△2,215	△9,604	△52,824	△62,428

(注)1 調整額に記載されているセグメント損失には各報告セグメントに配分していない全社費用52,824千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間に、自由診療医科分野の予約・検索サイト運営を主業とする株式会社イメージワンゼロットを設立し、連結子会社としたことから、新たな報告セグメントとして「ウェブ・サービス事業」を追加いたしております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計上額 (注)2
	ヘルスケアソ リューション 事業	GEOソリュ ーション 事業	ウェブ・サー ビス事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	197,423	35,345	42	232,811	-	232,811
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	197,423	35,345	42	232,811	-	232,811
セグメント利益又は損失(△)	14,161	4,995	△25,285	△6,129	△47,543	△53,672

(注)1 調整額に記載されているセグメント損失には各報告セグメントに配分していない全社費用47,543千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「医療画像事業」としていた報告セグメントの名称を「ヘルスケアソリューション事業」に変更しております。同じく「衛星画像事業」としていた報告セグメントの名称を「GEOソリューション事業」に変更しております。これらは事業内容により合致した表現とするための名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。また、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変

更後の報告セグメントの名称で記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。